

Gpress

せたがや

第49号

「ジープレスせたがや」
2023年
7月発行

●「げんき」センター長の挨拶

令和5年(2023)4月から世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」のセンター長をさせていただいております、猪瀬桂と申します。

平成21年に開設された「げんき」は今年の4月から15年目を迎えています。この間、社会の発達障害に関する理解が進み、地域の中での支援が充実してきました。

こうした中、世田谷区における「げんき」は、発達障害児(者)の日常生活(行動やコミュニケーション等)の相談支援や発達支援を行うとともに、各種研修会や講演会等も開催して、発達障害に関する啓発・理解促進活動をしてまいりました。

特に子どもたちの療育においては、その成長段階における困りごとに寄り添い、その軽減に向けて支援をさせていただいております。

今後も「げんき」は世田谷区の発達障害支援の拠点施設として区内の関係機関(医療、保健、福祉、教育等)と連携しながら、タイムリーで質の高い支援をめざしてまいります。

引き続きご支援ご協力賜りますようお願いいたします。



世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日(祝日及び年末年始を除く)
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
何かお困りのことがあれば、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236(相談専用)

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階

TEL 03-5727-2235(代表)

FAX 03-5727-2238

URL <https://www.ryo-iku.jp/>

業務受託/社会福祉法人 トポスの会

〒123-0844 足立区興野 2-18-12

TEL 03-5837-4830 **FAX** 03-3890-8121

発達障害支援に関するメールマガジン

『すまいる通信』を配信しています

毎月20日に
配信します

新規登録、登録内容の変更・登録の解除

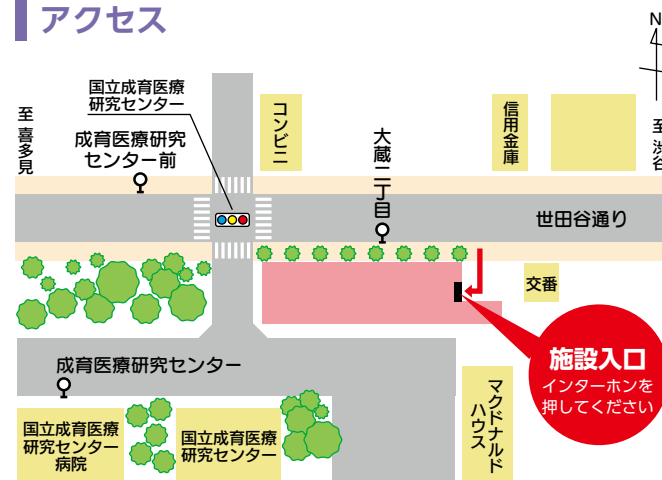
下記のアドレスまたは右の二次元
コードより案内に従い、空メール
を送信してください。



▶ <https://mail.cous.jp/setagaya-mail/>

(配信元・問合せ先) 世田谷区障害福祉部障害保健福祉課
TEL 03-5432-2227 FAX 03-5432-3021

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス

- 〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅
- 〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所
- 〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅
- 〔玉31〕 成城学園前駅 ↔ 二子玉川駅

小田急バス

- 〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。成育医療研究センター行き、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

読みのしくみを知ろう

～苦手さに気づくヒントと対応例～

例 ゆきだるまをつくりました。
をよむときに

「読み」のしくみ

イメージを思い浮かべられない

ゆ?き?だ?... = ?

一文字ずつ文字を音に変換する

ゆ...き...だ

読むことに時間がかかるため疲れてしまう

単語のまとまりを見つける

ゆきだるま を つくりました。

イメージを思い浮かべる

ゆきだるま =



単語を音に変換する YU-KI-DA-RU-MA



ゆきだるまを
つくりました

スムーズに読み進めることができる

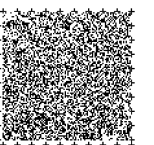
文章を読むとは、見覚えのある単語のまとまりを見つけ、映像としてのイメージを思い浮かべ、聞き覚えのある音のイメージを思い浮かべて話す作業のことです。言葉の意味をイメージできるか、できないかによって、「読み」の難しさが変わります。中面では、読みに苦手さのあるお子さんの事例をもとに、読む力を伸ばす関わり方を紹介します。

まずはお電話ください

<https://www.ryo-iku.jp/>

「げんき」相談専用番号 **03-5727-2236**

「げんき」では、発達障害に関する全般的なご相談をお受けしています。



一人ひとりに合った方法で読む練習をすることで、 読むことへの苦手さが減り、お子さんが本来持っている力を発揮しやすくなります

文字を読み分けることに苦手さがある場合

もしかして

文字と音が対応していない可能性があります。

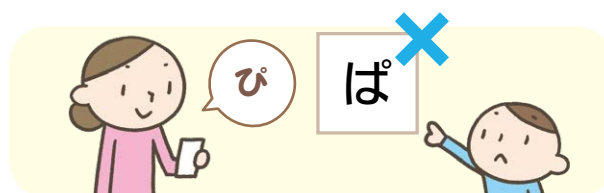
音韻処理能力を伸ばして、一つ一つの文字を読む力を伸ばしましょう！

※音韻処理能力：単語を一つ一つ音韻（意味の区別を示す音声）として分解した形で認識し、それを操作する能力



文字カードで読みの練習をしよう

- 1 大人が読み上げた単語が書かれた文字カードを選んでもらいましょう
- 2 答え方によってカードを分けましょう



- 3 B・C文字カードのみ、再度読みの練習をしましょう
- 4 A (すぐに読めた) のカードが増えたことが実感できるようにほめましょう



文字カードがスムーズに読めるようになれば単語に挑戦してみましょう。

ほかにも

読む力を伸ばすかわりの紹介

遊びを通して、いろいろなことを見て、聞いて、体験してみましょう。興味がある本を見つけましょう！その際に言葉をイメージしやすい絵本・漫画はおすすめです。“本や文字が身近にある空間・環境づくりをしてみましょう”



文章を読むことに苦手さがある場合

もしかして

言葉のイメージが思い浮かばないために、単語のまとまりを見つけるのが苦手なのかもしれません。

語い力を増やして、言葉の意味をイメージできるようにしましょう！

※語い力：単語の知識と、それを使いこなす能力

「○○」は、どういう意味？



例文づくりで言葉の意味を覚えよう

例「ゆきだるま」の単語を覚える

※最初は好きな本から。次は教科書の「知らない言葉」を選ぶのもおすすめです

- 1 大人が単語の読み方の見本を見せます。そして、マネをして読ませましょう
- 2 その単語の意味を説明しましょう
- 3 子ども自身の経験をもとに、例文をつくりましょう
- 4 楽しい経験の出来事と絡めて例文をつくることで、言葉のイメージが記憶にのこりやすくなります



ほかにも

言葉のまとまりを見つけやすくするサポート例

●文字に線を引く ●まとまりを斜線で区切る ●色をつける

ゆきがたくさんふったつぎのひ
ゆきだるま／を／つくる／ために
ぼくはこうえんにいきました

お子さんと関わる時に大切にしてほしいこと

語いが増えることで、学習面の助けになることがあります。

脳の中で言葉は単独では存在していません。文章の中でよく出てくる言葉と言葉は、ネットワークでつながっています。(例 ゆきだるま、ふゆ) ネットワークが増えていくことで、使える語いが増えていきます。



音読指導アプリもあります

1日1回5分が目安。誤読には答えを伝えて、再度音読させましょう

音読指導アプリ for Web URL <https://www.t-ondoku.com/>

